

弱溶剤形4フッ化ふっ素樹脂塗料

4Fシリーズ

1液ワイドフッソ4F壁用

1液ワイドフッソ4F屋根用

1液ワイドフッソ4F遮熱

弱溶剤系

1液形

- 超高耐候性
- 超低汚染性
- 防かび性
- 防藻性



4F

建築塗料の総合メーカー



スズカファイ株式会社

4Fシリーズ

最高グレードの4フッ化ふっ素樹脂塗料が誕生。

4フッ化ふっ素樹脂塗料は、従来のふっ素樹脂塗料を超える究極の性能を有する最高級弱溶剤1液形塗料です。

壁用弱溶剤1液反応硬化形4フッ化ふっ素樹脂塗料

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
内装仕上りの制限なし

1液ワイドフッソ4F壁用

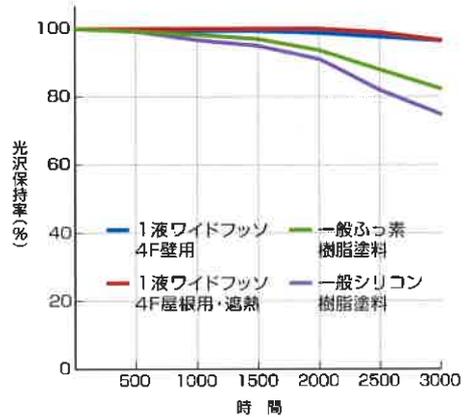
屋根用弱溶剤1液反応硬化形4フッ化ふっ素樹脂塗料

1液ワイドフッソ4F屋根用

屋根用弱溶剤1液反応硬化形4フッ化ふっ素樹脂遮熱塗料

1液ワイドフッソ4F遮熱

促進耐候性試験結果(キセノンランプ法)



遮熱用色見本【1液ワイドフッソ4F遮熱】

【近赤外線反射率】 ● 80%以上 ● 65~80% ● 40~65%



↑ CS0118 (淡彩)



↑ CS0308 (淡彩)



↑ CS0327 (淡彩)



↑ CS2758 (淡彩)



↑ CS7018 (淡彩)



↑ CS8018 (淡彩)



↑ CS4758 (淡彩)



↑ CS2776 (中彩)



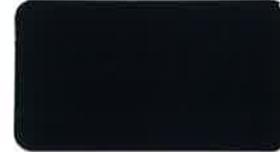
↑ CS0356 (中彩)



↑ CS0375 (中彩)



↑ CS0393 (濃彩)



↑ CS0391 (濃彩)



↑ CS2323 (濃彩)



↑ CS2352 (濃彩)



↑ CS8252 (濃彩)



↑ CS2371 (濃彩)



↑ CS8056 (中彩)



↑ CS8123 (特黄)



↑ CS7123 (特紺)

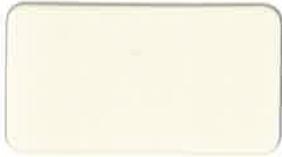
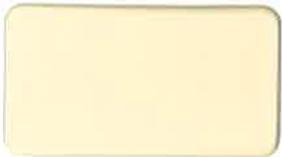


↑ CS7152 (特紺)

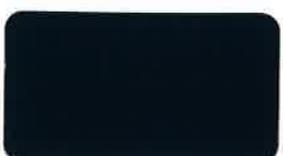
・1液ワイドフッソ4F遮熱は、標準色設定のみとなります。
 ・色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは色・つやが多少異なります。ご了承ください。
 ・色によって材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
 ・広い面積に塗装した場合、実際の色が見本標の色より多少明るく見える場合があります。
 ・近赤外線反射率は、1液ワイドフッソ4F遮熱の測定結果に基づいた標準的な数値です。
 ・測定条件により若干増減する場合があります。

・高日射反射率塗料を塗装する場合、特殊な調色を行っておりますので、塗付量が少ない場合、色相が変化して見えたり、隠れ不足などが生じますので、標準塗装仕様を厳守してください。
 ・また、市販の種ペンなどでの調色は行わないでください。
 ・既存塗膜と同等の明度の色または濃い色での塗替えをお奨めします。明度が高い既存塗膜を明度が低い高日射反射率塗料で塗替えても遮熱効果が得られない場合があります。

壁用色見本【1液ワイドフッソ4F壁用】

			
↑A455 (淡彩)	↑A500 (淡彩)	↑A204 (淡彩)	↑A001 (淡彩)
			
↑A352 (淡彩)	↑A401 (淡彩)	↑A201 (淡彩)	↑A602 (淡彩)
			
↑A403 (淡彩)	↑A411 (淡彩)	↑A420 (淡彩)	↑A322 (中彩)
			
↑A428 (淡彩)	↑A350 (淡彩)	↑A358 (中彩)	↑A359 (中彩)
			
↑A002 (淡彩)	↑A005 (淡彩)	↑A009 (淡彩)	↑A010 (淡彩)

屋根用色見本【1液ワイドフッソ4F屋根用】

			
↑マースレッド (濃彩)	↑コーヒーブラック (濃彩)	↑フレッシュグリーン (特黄)	↑ブラック (濃彩)
			
↑ビバレッド (濃彩)	↑ノアール (濃彩)	↑モスグリーン (濃彩)	↑チャコールグレー (濃彩)
			
↑ワインブラウン (濃彩)	↑チョコレート (濃彩)	↑オーシャンブルー (特紺)	↑ニューグレー (中彩)
			
↑カカオブラウン (濃彩)	↑ブルーブラック (特紺)	↑ナスコン (特紺)	

お願い

- 色見本は、紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは、色・つやが多少異なります。ご了承ください。
- 色によっては材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
- 広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色よりも多少明るく見える場合があります。

1液ワイドフッソ4F壁用

平滑仕様(コンクリート・モルタル・業系サイディングボードなど)

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●素地のレタンス、エフロセシス、汚れは除去し、巣穴・不陸・目潰しなどは予めラフトンファイラーなどの仕上材用下地調整塗材にて補修する。					
2	下塗り	ワイドシーラー-EPO	100 (無希釈)	0.1~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	1液ワイドフッソ4F壁用 塗料用シンナー	100 0~10	0.12~0.16	2	5時間以上3日以内 最終養生24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

【使用可能上塗】1液ワイドフッソ4F壁用

【使用可能下塗】ワイドシーラー-EPO、クリヤーシーラー-EPO、ホワイトシーラー-EPO、ピナクルシーラー、ピナクルホワイト、ラフトンエポキシシーラーなど

1液ワイドフッソ4F屋根用・1液ワイドフッソ4F遮熱

※多雪地域の屋根には使用を避けてください。

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ●素地は十分に乾燥させる。 ●フックボルト及び取り付け金具の発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて急急に除去する。 ●花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ●油類はシンナーで拭き取る。 ●素地表面の汚染付着物・基材のべい弱層は十分に除去する。(ブラシ、エアブロー、高圧水洗など)特に重なり部や溝、金具周辺は急急に清掃する。 ●素地は十分に乾燥させる。					
2	下塗り	ワイドシーラー-EPO	100 (無希釈)	0.1~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	1液ワイドフッソ4F屋根用 塗料用シンナー	100 0~10	0.12~0.16	2	16時間以上3日以内 最終養生24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

【使用可能上塗】1液ワイドフッソ4F屋根用、1液ワイドフッソ4F遮熱

【使用可能下塗】1液ワイドフッソ4F屋根用:ワイドシーラー-EPO、クリヤーシーラー-EPO、ホワイトシーラー-EPO、ラフトンエポキシシーラーなど

1液ワイドフッソ4F遮熱:ウールローラー・ワイド、リフノン

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●油類はシンナーで拭き取る。 ●素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。 ●素地は十分に乾燥させる。 ●発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて急急に除去する。 ●花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ●油類はシンナーで拭き取る。 ●素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ、エアブロー、高圧水洗など) ●素地は十分に乾燥させる。					
2	下塗り	エポマイルド	100 (無希釈)	0.12~0.16	1~2	16時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	1液ワイドフッソ4F屋根用 塗料用シンナー	100 0~10	0.12~0.16	2	16時間以上3日以内 最終養生24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

【使用可能上塗】1液ワイドフッソ4F屋根用、1液ワイドフッソ4F遮熱

【使用可能下塗】1液ワイドフッソ4F屋根用:エポマイルド、ワイドセブストップ、ワイドラスノンEPO、エポプラなど

1液ワイドフッソ4F遮熱:ワイドラスノンCOOL、エポクールワイド、リフノン

※1. 塗替時は、既存塗膜が健全な状態で、さびが発生していない場合には下塗り等を省略することができます。

※2. 北葺スレート瓦に塗装する際、上下の板の重なり部にすき間が少ない場合は、塗装前にスパーサー(タスペーサー等)を挿入し、排水機能を維持してください。

塗装後にやむをえず皮すきなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

※3. セメント系の屋根材(化粧スレート瓦など)で、素地への吸込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。また、下塗り乾燥後にガムテープで基材表面からの剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。

荷 姿

商品名	容量	仕上がり	色 相
1液ワイドフッソ 4F壁用	15kg 4kg	つや有り 7.5・3分つや	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
1液ワイドフッソ 4F屋根用	15kg 4kg	つや有り	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
1液ワイドフッソ 4F遮熱	15kg 4kg	つや有り	標準色

塗装適用範囲

※シャッター・歩行部位への使用は避けてください。

商品名	適用部位	適用素地	適用既存塗膜
1液ワイドフッソ 4F壁用	建築物壁面 (内外部)	●セメント系系材 コンクリート・モルタル・スレート・ PC部材 業系サイディングボードなど	●アクリル樹脂エナメル ●ポリウレタン樹脂エナメル ●アクリルシリコン樹脂エナメル ●リシン、吹付けタイル(ふっ素樹脂塗料は不適)
1液ワイドフッソ 4F屋根用	建築物屋根・ 鋼構造物	●セメント系系材 住宅用化粧スレート瓦・セメント瓦・ スレート屋根など ●金属系系材 銅板・鋼材・アルミ・ステンレス・金属系 サイディング・タンク・カラートタンなど	●合成樹脂系ペイント ●ポリウレタン樹脂塗料 ●フタル酸樹脂エナメル ●塩化ゴム樹脂塗料 ●アクリル樹脂エナメル ●アクリルアルキッド樹脂塗料
1液ワイドフッソ 4F遮熱			

■塗装上の注意事項

- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 素地の穴、クラック、不陸、目潰しなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンファイラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 気温5℃以下、湿度95%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- 塗装面が高湿(50℃以上)の場合は塗装を避けてください。
- 塗替時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じようとする既存塗膜に塗装すると、ふくれ等を発生させることがあります。
- 吹付塗装の場合、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- うすめずば、たるみ・膨べい不足・つや不足などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどがないように均一に塗装してください。
- つや調整品は被塗物の形状、厚さ、色目、塗装回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますのでご了承ください。
- このような素地面の場合、付着不良や2回塗り時にチヂミを生じることがありますので、塗装を避けてください。
- 清掃が十分で汚れが付着している素地、既存塗膜が塗料用シンナーの拭き取りで取れる場合、完全硬化した2液形塗料の旧塗膜など
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。特にワイドシーラー-EPOをシーリング材へ直接塗装すると硬化不良を生じます。やむをえず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン遊プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材は、塗装を避けてください)
- シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- シロアリ、ゴキブリ、プラスチックなどの可塑剤を含むものに本品塗膜が接触すると、粘着の発生や硬化不良を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- ベンチ・シャワールームなどが人が乗るもの、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- 開栓した状態で長時間放置しないでください。
- 塗料用シンナーの洗浄はラッカーシンナーの方が容易です。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。

■取扱い上の注意事項

- 引火性の液体です。火気のあるところで使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所は、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
- ・有機ガス用防毒マスクまたは空気マスク・頭巾・保護帽がぬ・長袖の作業衣・
- ・入り巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車庫などに飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- 臭いは、食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざかるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。
- もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とす。痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分にしてください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
- 特に下記場所の保管は避けてください。
- ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には乾酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用いて初期消火をしてください。
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
- 容器裏面に腐食性、砂、泥、有機物(木の灰)、金属(くず)などを放置すると、塗膜に変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。

注) 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。
また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市補町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255 取扱店
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>



●この見本に記載の内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●この見本に記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。